

ていねいな暮らしのあったころ

佐野二彦の撮った伊深の里山



「ひな人形売り」 昭和39年3月撮影

「土びな」

ひな祭りの時期になると、多治見や笠原、可児から「土びな」売りが土人形を売りに伊深を訪れました。必ずしも現金払いということではなく、米と交換で品物を手に入れることもありました。

「土びな」は、内裏びな以外に、七福神や武者・歌舞伎役者など、いろいろなバリエーションがあ



「いろいろなひな人形」 昭和38年3月6日撮影

りました。年が明けると訪れる行商から少しずつ買い足していくのも、楽しみの一つでした。

「土びな」ではないひな人形のある家もあり、どちらも飾られました。

伊深では旧暦のひな祭りであったため、野山にツツジなどの花がちょうど咲いており、人形とともに供えられました。